

行こうよ図書館へ



シニア映画会

中央図書館内にある視聴覚ライブラリーでは、懐かしい映画作品などを上映する「シニア映画会」を開催します。

- 【時】 2月28日(土)
- ▼午前の部 10時～11時30分
- ▼午後の部 14時～15時30分
- 【所】 中央図書館3階 研修室
- 【内容】
 - 「黄金花」秘すれば花、死すれば蝶々
 - 出演 原田芳雄、松坂慶子、野呂圭介

▼作品内容 個性豊かな老人たちが暮らす「浴陽荘」での、愛と笑いの日々を描く。

- 【対象】 一般
- 【定員】 各30人
- 【参加料】 無料
- 【事前申込】 不要
- 【問合せ】 中央図書館 02(2)3542

視聴覚講座 シニア向けスマートフォン活用講座

「スマートフォンって何が出来るの」「持っているけれど使い方がよく分からない」といったシニアの皆さんを対象に、下記のとおり講座を開催します。

ご家族やお友達とのコミュニケーションが楽しく便利になります。ぜひ、受講しませんか。



- 【時】 3月14日(土)
- ▼午前の部 10時～11時30分
- ▼午後の部 14時～15時30分
- 【所】 中央図書館3階 研修室
- 【内容】
 - ① 文字入力などの基本的な操作方法を学ぶ
 - ② インターネットや生活に役立つアプリケーションの安全な使い方を学ぶ
 - ③ 「Twitter」や「LINE」など、コミュニケーションツールの紹介

【対象】 55歳以上で、スマートフォンを持っているが、電話やメールの機能のみ使用している方

- 【定員】 各5人
- 【受講料】 無料
- 【持ちこてるもの】 現在使用しているスマートフォン
- 【申込方法】 住所・氏名・電話(ファクス)番号と、希望する時間(午前の部または午後の部)を、電話またはファクスで申し込み
- 【申込締切】 3月10日(火)

【申込・問合せ】 02(2)895-0076
 大小路町14-5 中央図書館
 02(2)3542
 02(2)1289

お知らせ わくわく図書館「冬」開催

- 【時】 2月28日(土)
- ▼午前の部 10時30分～12時
- ▼午後の部 14時30分～16時
- 【所】 中央図書館2階 おはなしのへや
- 【内容】
 - ① おはなし 絵本・パネルシアターなど
 - ② 子ども映画会 「くまのおいしゃさん」
 - ③ お楽しみ工作 「忍たま乱太郎の地震用心 火の用心」

【対象】 小学生以下(保護者参加可)

- 【定員】 各30人
- 【参加料】 無料
- 【事前申込】 不要
- 【問合せ】 中央図書館 02(2)3542



東郷分館から

今月のおすすめ本

一般書 窓から逃げた100歳老人
 ヨナス・ヨナソン 著
 柳瀬 尚樹 訳 (西村書店)

老人ホームから逃げた主人公。ギャング団の金を奪ってしまい、追っ手は増えていくが、どこ吹く風。爆弾作りの専門家だった彼は、数々の修羅場をくぐり抜けてきた過去があった。スウェーデン発の笑劇＆爆弾コメディ

一般書 サラとソロモン
 エスター&ジェリー・ヒックス 著
 加藤 三代子 訳 (ナチュラルスピット)

ある日、フクロウのソロモンが飛ぶのを見て、「空を飛べたら」というサラに、ソロモンは空を飛ぶ方法を教えてくれた。その方法は、この世界で幸せに生きるための方法と同じだった。幸せな人生をおくる方法とは…

児童書 ハナミズキのみち
 浅沼 ミキ子 著
 黒井 健 絵 (金の星社)

東日本大震災で、家族との思い出がなくなった海に息子は命を奪われた。悲しみに暮れる母に祈りの声が届く。「おかあさん、いのちをまもるハナミズキを、いっぱいいっぱい教えてね」。母の切なる思いから生まれた絵本

絵本 しろくまのパンツ
 tupera tupera 作 (プロンズ新社)

パンツをなくしてしまった「しろくまさん」は、「ねずみさん」と一緒にパンツを探します。穴の開いたページから、おしゃれなしましまのパンツなど、いろいろなパンツが現れますが…

第17回 いきいき健康情報

このコーナーでは、市民の皆さまの健康づくりに役立つ情報を掲載します。

感染性胃腸炎について

「感染性胃腸炎」は冬場に流行する代表的な感染症で、ウイルスを原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウイルスには「ノロウイルス」「ロタウイルス」「アデノウイルス」などがあります。主な症状は腹痛、下痢、嘔吐、発熱です。

これらの胃腸炎は、症状のある期間が短く、特にノロウイルスが原因の場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行になることがあります。そのため、感染のピークを迎える冬場には注意が必要です。なお、鹿児島県は昨年12月25日に、感染性胃腸炎の患者が増加している県全域に流行警報を発令しました。

ノロウイルス・ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、1～2日間の潜伏期間を経て、吐気、嘔吐、下痢、腹痛、37℃台の発熱が見られ、症状は1～6日持続します。また、ロタウイルスによる感染性胃腸炎の場合、便が白色になることもあります。

感染性胃腸炎の感染経路

- ▼ 感染した人の便や嘔吐物に触れた手指を介して、ウイルスが口に入ったとき
 - ▼ 便や嘔吐物が乾燥して細かいちりとなって舞い上がり、ウイルスを体内に取り込んだとき
 - ▼ 感染した人が十分に手を洗わずに調理した食品を食べたとき
 - ▼ ノロウイルスを内臓に取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を「生」または「不十分な加熱処理」で食べたとき
- 以上のような感染経路でウイルスが体内に入らないよう、次のことなどに気を付け、予防に努めましょう。

感染性胃腸炎の予防

- ① 手洗い 予防として最も大切なのは手洗いです。特に排便後、調理や食事の前には、せっけん流水で十分に手を洗いましょ。
- ② 便や嘔吐物の処理 便や嘔吐物を処理するときは、使い捨て手袋、マスク、エプロンなどを着用し、直接手指などが触

感染性胃腸炎の治療

感染性胃腸炎への特別な治療法はなく、つらい症状を軽減するための処置(対処療法)が行われます。乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状を生じることがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者は、嘔吐物が気管に入ることなどの誤嚥により、肺炎を起こすことがあります。そのため、注意が必要です。少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には、消化しやすい食事を取るよう心掛けましょう。

【問合せ】=市民健康課(川内保健センター内) 02(2)8811